

令和6年度第3回湯沢町総合戦略推進会議 要旨	
日時	令和6年12月26日（木）9:00～11:30
場所	湯沢町役場3階 大会議室
次第	・議題 1. 人口の将来展望等について 2. 次期総合戦略（案）についての審議 ・その他
出席者	氏名（所属・役職）
	・ 鷲見 英司 委員 （日本大学経済学部教授） ・ 綿貫 靖夫 委員 （湯沢町商工会会長） ・ 中島 宏明 委員 （東日本旅客鉄道株式会社越後湯沢駅駅長） ・ 高橋 政弘 委員 （社会福祉法人湯沢町社会福祉協議会会長） ・ 星名 秋彦 委員 （新潟県南魚沼地域振興局局長） ・ 竹樋 渉 委員 （第四北越銀行 湯沢支店支店長） ・ 桑原 優 委員 （新潟県信用組合 湯沢支店 支店長） ・ 南雲 有華 委員 （町民） ・ 上村 貴子 委員 （町民）
	（欠席） ・ 岡 淳朗 委員 （一般社団法人湯沢町観光まちづくり機構代表理事） ・ 角谷 真一郎 委員 （町民） ・ 剣持 崇紀 委員 （町民）

内容
議題1. 人口の将来展望等について
（議題から委員長が進行）
鷲見委員長 人口の将来展望等について事務局から説明をお願いします。
以下の資料に基づき事務局から説明 ・ 資料1-1 湯沢町人口の将来展望 ・ 資料1-2 将来人口シミュレーション ・ 資料1-3 将来展望の出生関係変数に関する試算
鷲見委員長 委員の皆様から意見ありますか。

綿貫 副委員長	・出生率 1.60 というのはいつの段階の数値になりますか。
鷺見委員長	・人口の将来展望を推定する際に、現状値から段階的に引き上げていく時点（2030 年）での数値になります。資料 1-1～1-3 でお示ししたのは、まず出生率 1.60 を達成するためにはどういうことが想定されるかという試算になります。
議題 2．次期総合戦略（案）についての審議	
鷺見委員長	次に、議題 2．次期総合戦略（案）について事務局から説明をお願いします。
以下の資料に基づき事務局から説明 ・湯沢町デジタル田園都市構想総合戦略（案） ※今回（第 3 回）では基本目標 3～5 を説明して審議	
鷺見委員長	まずは、基本目標 3 でご質問のある方はいらっしゃいますか。
星名委員	婚姻件数とはどのようにカウントしているのですか。
事務局	婚姻時点したで湯沢町に住民登録があったら「1」とカウントしています。年齢は関係なくカウントしています。
高橋委員	婚活イベントの参加者はどのくらいですか。
事務局	参加実績は即答できませんが、町独自で実施していた時の募集人数は、男女共に 10 人以下で設定していることが多かったです。また、南魚沼市、魚沼市と合同で実施していく際には、もう少し募集人数を増やしています。また、町単独でやったときは、募集しても人が集まらなかったが、南魚沼市・魚沼市と合同でやったときは、応募が多数ありました。
高橋委員	過去にも広域（南魚沼郡内）で実施してたことがあった。大変盛況で、応募者には事前に身だしなみなどのレクチャーを実施していました。広域でやることはいいと思います。
桑原委員	出産支援策としての通院時の負担軽減とは、具体的にどのようにするのですか。またこの病院に行っていますか。
事務局	支援としては、通院に係る費用を助成することなどを検討しています。産科については、この近辺ですと、南魚沼市の魚沼基幹病院や十日町市のたかき医院になります。婦人科として南魚沼市のひとみクリニックというところもあり、妊婦健診であればある程度の時期まで、受診することができると聞いています。妊婦健診後期からは、ひとみクリニックからは、魚沼基幹病院へ引き継ぎ体制もできていると聞いています。
高橋委員	医療機関としては、出産に係る報酬が自由診療でなくなるかどうかという点も懸念しているようです。産科のある医院だと、入院患者の対応のため休日も医師が待機していなければならないということで、報酬が決められた診療報酬となると、金銭的にも厳しくなるので産科医がなくなってしまうのではないかという話を聞いたことがあります。

上村委員	婚活支援についてですが、マッチングシステムへの加入支援とはミーティングパーティーと連動しているのですか。
事務局	マッチングシステムへの加入支援は、システム登録時にかかる負担金を補助するというもので、ミーティングパーティーには連動していないものになります。
上村委員	・資料をみると、男性が結婚意欲はあるのに婚姻率が低いということのようなので、マッチングシステムなどを活用できる方はいいけれど、仲人のような方がお世話してあげた方が良い方もいるようなので、仲人を活用した制度などもあると良いかと思いました。 ・出産支援として、不妊治療に対する支援も、治療できる医療機関が限られているので、交通費の負担などがあると思われますので、その辺の負担軽減策についても検討してもらえると良いかと思います。
竹樋委員	・数値目標の出生数 38 人が達成できれば出生率が 1.60 に近づくということでしょうか。 ・資料 1-3 の P1 のグラフを見ると、近隣の同規模自治体で出生率が高いところがあるようですが、要因やなにか参考になりそうな施策はあったりしますか。
鷲見委員長	出生数 38 人については、人口ビジョンの将来展望で出生率を 1.60 としている令和 12 年の人数に併せているというものになります。
事務局	近隣の同規模自治体で出生率が高い要因についてはわかっていません。また、参考となる施策があるかどうかについても今後調べてみたいと思います。
中島委員	新幹線を活用した通学支援について、どのような条件とする予定でしょうか。
事務局	詳細な制度設計はこれから検討していく予定です。
南雲委員	いくつか教えてください。 ①婚活支援についてですが、対象エリアを広げて取り組んでいるということですが、首都圏の女性も対象にということはどうでしょうか。首都圏の方で移住相談会などを実施しているかと思うので、そういった場でも併せて PR ができると効果的かなと思いました。 ②出産支援については、妊婦健診だけでも、町内で受けたいという声を聞きます。医療機関へ通うことが大きな負担となっている状況があります。助産師さんを町内に常駐させられるようなことも検討してほしいと思います。 ③子育て支援についてですが、認定こども園における保育体制の充実とありますが、現場としては非常に保育士さんが不足していて大変と聞いていますので、保育体制の充実ということも難しいのかと思いますが、人材確保などの状況はいかがでしょうか。

	④確か出雲崎町の道の駅で「子育て応援宣言の町」といった看板を見ました。出雲崎町は町内に高校が無いということで、通学運賃を50%助成しているようなので、参考に検討していただけたらと思うことと、このような看板を掲示すると、来訪者のから見た時に子育てに手厚い印象を与えることもできるので、移住を検討するきっかけとなるPRにもなると思いました。
事務局	①については、昨年、首都圏の女性を対象にミーティングパーティーを実施した実績があります。また移住相談会などと併せたPRについても検討したいと思います。 ②担当課の方と検討をしてみたいと思います。 ③保育士の確保については、基本目標2の2-6 有資格移住・就労者への支援と併せて確保に努めたいと考えています。また、現在はマッチボックスでも求人をしている状況です。他の自治体では派遣会社と連携して取り組んでいるというじれもあるようなので検討を進めたいと思います。 ④高校への通学費補助については、検討したいと思います。看板についても良い取り組みだと思うので検討をしてみたいと思います。
綿貫委員	商工会としても、人材確保に力を入れていて、派遣会社と企業をマッチングするための検討会を年に数回開催しています。
上村委員	保育士の採用については、年齢制限があるので入りづらいということを聞いたことがあります。年齢制限を超えてしまうと会計年度任用職員としての採用になって賃金が少ないということがあるようなので、年齢制限についても検討していただけたらと思います。
鷲見委員長	年齢制限は設けなければならないものなのですか。
事務局	年齢制限は町の方針で変えることは可能です。昨年度からは、社会人採用枠を設けて、今年度は45歳くらいの年齢までを対象に募集をしています。
星名委員	県では獣医師など採用困難職種で59歳まで受験可能としています。また、キャリア採用ということで、経験や能力、年齢に応じた役職を充てるといったことも実施しています。
鷲見委員長	続いて、基本目標4でご質問のある方はいらっしゃいますか。
星名委員	いくつかありますが ①4-3 グリーンシーズンの誘客促進について、雪国リトリートを入れてほしいと思います。効果的な取り組みだと思いますし、事務局を湯沢町にある雪国観光圏（雪国観光舎）が担っていることもあるので。 ②観光人材の育成について、インバウンド対応の強化ということも入れた方がよいと思います。言語対応や標識の多言語化など。国の補助金を活用するうえでも必要な要素かと思います。 ③観光統計のKPIだけが導入したらおしまいということのように見えるので違和感があります。

事務局	①については、雪国リトリートを記載する方向で考えたいと思います。 ②について、施策 4-2 観光人材の育成で記載している、観光地を運営する人材はDMOなど、観光産業人材は個々の経営者の育成ということを目指していきまして、支援としては、観光庁が実施している育成講座の受講を支援しようという主旨であって、その中にはインバウンドの要素も入ってくるかと思っています。標識については DMO と検討したいと思います。 ③については、確かに観光統計の K P I だけ活動指標になっていますが、この取り組みによって、基本目標の数値目標の達成につながるという主旨でご理解いただけたらと思います。
竹樋委員	観光振興においては、二次交通の充実ということも必要だと感じてますが、交通に関する施策を基本目標 5 にしているのは理由がありますか。
事務局	観光振興において、二次交通の充実が重要ということは同感であります。ただ、現在の町の交通施策としては、観光交通だけでなく、観光交通の資源を町民の方たちも利用することができるようにすることで、全ての方の移動利便性が向上し、安心して快適に暮らせるまちにつなげていきたいと考えていることから基本目標 5 に位置付けているということになります。
上村委員	基本目標のタイトルとして、「多くの人が訪れ、交流する活気あふれるまち」ということですが、訪れた人達が、観光だけではなく交流を通じて町を支援していきたいと思うような取り組みもあるといいと思いました。村上市の方では来訪者にポイントを付与しているといった取り組みもしているようです。
事務局	今年度から「帰る旅」という取り組みを雪国観光圏で実施しています。これは観光客以上移住未満というような位置づけで「ただいま」という感覚で来訪していただき、観光だけでなく、地域のお手伝いをしてもらうといった取組みです。上村委員のご意見やこういった取組を踏まえた記載の追加を検討したいと思います。
綿貫委員	基本目標 4 としては、観光立町として大切な施策だと思います。ひとつひとつの施策も重要ですが、子育てから観光、インバウンド対応や移住施策など基本目標 1 ～ 5 まですべて町が実施している様々な施策を一つの動画などを通して PR することも重要かと思いました。
事務局	コロナ禍前には動画を作成して PR していたこともありましたが、それを改めて PR することや、新しいものを作成するかなども検討していきたいと思います。
中島委員	首都圏から近いエリアこれだけの資源もあるので PR していくのは重要だと思います。新幹線も速度が上がり、前に比べて少し早く着くことができるようになりました。JR としても 1 月下旬に湯沢に来てくださいと言う観光 PR をする予定です。ガーラ湯沢もインバウンドのお客さんがすごい状況です。言葉は通じないが、いろいろ工夫をしながら、皆さんに楽しんでもらうように努めています。いろいろな施策に一番共通しているのが新幹線などの交通網なのかと思います。

事務局	おっしゃるとおり、湯沢町の特徴として、高速交通インフラが整っているということがありますので、基本目標4に限らず、全ての施策においてこの特徴を活かしていくことが重要だと考えています。
鷲見委員長	続いて、基本目標5でご質問のある方はいらっしゃいますか。
上村委員	リゾートマンションの適正管理支援について、マンションに居住する人も多いので、マンションの居住者同士の交流があることが重要だと思いますが、マンション交流の補助金もあるようですが活用状況はいかがですか。
事務局	マンション交流活性化補助金という制度を実施しています。コロナ禍前までは10数件申請があり、コロナ禍には活用事例がなくなってしまいましたが、現在は年間8件くらいの利用があります。マンションの組合員同士の親睦を深める新年会や、マンションのロビーを活用して、地域の方も参加できるコンサートを実施しているところなどがあります。
高橋委員	P4の国の施策の方向には、医療や介護といった要素も入っているので、町の総合戦略においても、なにかしらの記載があるといいと思った。KPIを定める施策などではなく、一行だけでもどこかに文面を入れてもらえたらと思う。
事務局	総合戦略が人口ビジョンに掲げた将来人口展望を目指すというところから、若者に特化した内容が多くなっています。また、介護や福祉といったことに関しては、他に個別計画もあることなどもありますので現状のような記載内容になっているところです。記載を追加するかは、検討をさせていただきたいと思います。
桑原委員	5-2町の移動利便性の向上について、KPIを現状18%から目標80%としていますが、この地域移動環境計画による取組みはどのようなことをすることになっているのでしょうか。
事務局	地域移動環境計画は、令和4年度に5年間の計画として策定しました。この中の施策は多数ありますが、大きな施策としては、複数運行されている観光のシャトルバスと路線バスを効率の良い形で統合し、来訪者や町民にとっても利便性のいいものにしていきたいということです。他にも、湯沢駅構内のバス乗り場案内表示の改善や、日本版ライドシェアの導入などもこの計画に基づいて実施や検討を進めているところです。
鷲見委員長	全体を振り返って改めてご意見のある方はいらっしゃいますか。
南雲委員	私は移住してきたので、湯沢町がとてもいいところだと思っています。ただ、謙遜なのかもしれませんが、ずっとこの地域で過ごしてきた大人たちの声を聞くと、あまり湯沢を魅力的な場所だと思っていないように感じる場合があります。教育現場で子供たちに湯沢町への愛着を促す取り組みを実施したとしても、一時的なものであり、やはり日頃から接する親の世代の方たちが、ネガティブな発言をすると子供たちも影響されてしまうと思います。何かしら大人の意識を変えるような取り組みをすることで、子供たちの意識も変わっていくことになると思います。

鷺見委員長	この戦略の取組みなどを外部だけでなく町内の皆さんにも PR していくことなどが重要なのかもしれないですね。 また、若い世代が自らの人生設計をイメージするうえでも、この戦略を認知してもらうといったことは重要な一つかと思います。
その他	
事務局	第4回の会議を1月8日（水）に開催いたしますのでよろしくお願いいたします。以上で本日の会議は終了とさせていただきます。